KOIKEYA

CIロゴマークコンセプト

六角形は、これまでの湖池屋のコアバリュー
「親しみ」「安心」「楽しさ」に「本格」「健康」「社会貢献」を加えた
新生湖池屋のコアバリューを表現しています。

KOIKEYA

環境・CSR報告書 2020

湖池屋が大切に考えること

湖池屋が大切に思うことは、
自然豊かな日本の大地の恵みに感謝して
緑を育み、土や水とともに歩むこと。
持続可能な社会のために、
商品を通してお客様と一緒に
環境に取り組んでいくことです。

代表取締役会長
小池　孝

代表取締役社長
佐藤　章

■ 湖池屋の環境理念

私たち湖池屋は、独創的で心の満足度の高い商品、サービスを提供するとともに、
地球環境、人々の健康、豊かな社会づくりに貢献します。

■ 湖池屋の環境行動指針

1. 環境関連法規及びその他の要求事項を遵守するとともに、自主基準を設定し、事業活動に取り組みます。
2. 事業活動による廃棄物の削減及び再資源化、省資源、省エネルギーを推進するとともに、
   地球環境に負荷を与える物質の削減に取り組みます。
3. 環境に配慮した原料・資材調達、商品開発、生産に努めます。
4. 環境保全のための社会貢献活動に取り組みます。
5. 環境教育を通じ、環境保全に対する意識向上を図るとともに、全社員が環境意識を持って行動します。

持続可能な開発目標（SDGs）

株式会社湖池屋は、国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、『食』を通じてSDGsの達成に積極的に貢献します。

持続可能な開発目標（SDGs）は、2016年から2030年の15年間で達成すべき“世界共通の目標”として、2015年9月に国連で開催された持続可能な開発サミットで国連に加盟している全193カ国によって採択されました。2001年に策定されたミレニアム開発目標MDGsの内容を土台としており、発展途上国・先進国と国の状況を問わず、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsには、17項目の目標と、169個のターゲットがあり、主に社会的包摂・経済成長・環境保護の3分野から構成されています。世界各国が、15年間で全17項目の目標達成に向けて行動していくことで、2030年以降も“持続可能な社会”を実現させ続けることを目指しています。

環境・CSR報告書について

【対象期間】年間実績データは、2019年度（2019年4月～2020年3月）について報告しており、一部対象期間外も含まれております。
【対象範囲】本報告書の対象組織は湖池屋の国内事業となります。湖池屋の海外事業、外部協力工場は除いております。
※本報告書に記載したデータはお断りなく変更する可能性もありますのでご了承ください。

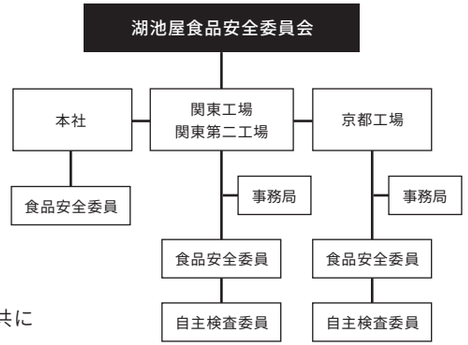
食の安全・安心への取り組み

湖池屋はお客様に安全・安心な商品をお届けするため、
食品安全品質方針に基づき、原材料の調達から製造、流通、販売に至るまでの
全ての部門において、安全・安心な商品作りに取り組んでいます。

湖池屋 食品安全・品質方針

1. 【お客様志向】
   お客様の立場で考え『健康』『おいしい』『楽しい』『満足度の高い』
   商品・サービスを提供します。
2. 【法令遵守】
   法規制、食品安全に関する要求事項を遵守し、
   信頼していただける商品・サービスを提供します。
3. 【安全・安心】
   食品安全マネジメントシステムを構築し、安全で安心な
   商品・サービスを提供します。
4. 【コミュニケーション】
   社内外のコミュニケーションを充実させ、品質の向上に努めると共に
   商品情報を的確に提供します。
5. 【継続的改善】
   食品安全目標を設定し取り組むと共に、マネジメントレビューを
   通じ継続的に改善を行います。
6. 【教育】
   従業員の食品安全に関する技術、知識、経験などの
   維持・向上のため、継続的な教育・訓練を行います。
7. 【啓蒙活動】
   食品安全・品質方針を全従業員に周知し、社外にも広く発信します。

湖池屋 食品安全委員会 組織図



日本産じゃがいも100%のこだわり

湖池屋ではポテトチップスの原料として、日本産生じゃがいもを100%使用しています。じゃがいもは、南は九州から北は北海道まで全国各地で栽培されておりますが、産地によって収穫時期が異なります。5月下旬より九州での収穫が始まり、8月中旬からは北海道へと至ります。収穫時期を示すラインが北上していく様子は「じゃがいも前線」と表現されることもあります。高品質のじゃがいもを安定的に確保するため、定期的に産地を訪問し、じゃがいもの生育状況や収穫状況のチェックを実施しております。また、生ものであるじゃがいもを保管するため、受入時に品質検査を実施しており、貯蔵に耐えうる品質の選定をすることで、安定した商品を提供し続けられるよう、努めています。湖池屋は、1962年の「湖池屋ポテトチップス のり塩」発売以来、日本のポテトチップスの老舗として、日本産じゃがいも100%にこだわり、58年間に亘ってポテトチップスを作り続けてきました。これまで培ってきた歴史と伝統を継承しながら、日本のポテトチップスをさらに進化させるべく、湖池屋はこれからも新たな挑戦を続けていきます。

湖池屋の森を作っています

湖池屋では、2009年12月にふらの農業協同組合との業務提携で「シレラ富良野工場」が稼動したことを機に「ほっかいどう企業の森林づくり」に参加し、南富良野町の町有林において森林保全活動を実施しています。

【事業名】ほっかいどう企業の森林づくり
【場　所】南富良野町（町有林）
【期　間】第1期：2009年　第3期：2015年～2019年
　　第2期：2010年～2014年　第4期：2020年～2024年

AIBフードセーフティについて

安全・安心な食品を製造するため、湖池屋では、2008年よりAIBフードセーフティ指導・監査システムに基づいた取り組みを推進しております。

清掃活動

[日常清掃の実施]
日勤のラインや交代勤務のラインなど、生産終了時には、自動洗浄機や温水での洗浄も含め、清掃手順書に基づいて、しっかりと清掃を行っています。

[定期清掃の実施]
マスタークリーニングスケジュールを作成し、定期的に全工場ラインを停止し本格的な清掃を実施しています。普段、清掃が困難な高所や生産機械の奥の奥まで徹底的に清掃を行っています。

有害生物の管理

飛翔性昆虫、歩行性昆虫、そ族などの有害生物に対し、毎月のモニタリングおよび週1回の点検から対策を講じ、食品への危害をなくすべく努力を行っています。

異物混入対策

HACCPの導入により、衛生管理の強化と安全性の確保を行なっています。特に設置されている金属検出機を重要管理点とし、より厳しく管理しています。

アレルゲン混入対策

アレルゲン物質が含まれるシーズニングなどの原料については、含まれているものとそうでないもの、また含まれているアレルゲンの種類により分けて管理するなどの対策を実施しています。

AIB Food Safety System

食品安全の国際認証である「FSSC22000」を取得

2017年5月、株式会社湖池屋 関東工場（第2工場含む）及び京都工場において、食品安全の国際認証であるFSSC22000の審査に合格し、認証を取得しました。

関東	登録事業所	株式会社湖池屋 関東工場、関東第2工場 （〒347-0063 埼玉県加須市久下1615）
	初回認承日	2017年5月8日
	認証番号	3836002
	登録範囲	プラスチックパッケージ入りスナック菓子の製造及び包装ならびに清涼菓子の包装
	認証機関	ビューローベリタスジャパン株式会社

京都	登録事業所	株式会社湖池屋 京都工場 （〒622-0024 京都府南丹市園部町千妻マカリ1-1）
	初回認承日	2017年5月8日
	認証番号	3836003
	登録範囲	プラスチックパッケージ入りスナック菓子の製造
	認証機関	ビューローベリタスジャパン株式会社

FSSC22000は、GFSI（世界食品安全イニシヤティブ）が認める食品安全規格の一つです。FSSC22000は、前提条件プログラム（食品安全手順）の要求事項であるTS 22002とマネジメントシステム（経営体制）の要求事項であるISO 22000の2本立てで構成されています。FSSC22000認証を取得することにより、食品安全マネジメントシステムを構築し、永続的に安全な商品を提供し続ける仕組み作りを目指し、企業理念にもある、「常に安心できる商品を提供し、地球環境、人々の健康、社会貢献を心掛ける」を推進して参ります。

社会貢献への取り組み

湖池屋は、豊かな社会の実現とその持続に貢献するため、40年以上に渡って協賛会社として運動に参加しているベルマーク教育助成運動をはじめ、お菓子を通じた社会貢献活動に取り組んでいます。

国連WFPへの協力

湖池屋は「食」に携わる会社として「飢餓のない世界をつくる」という国連WFP協会の理念に賛同し、2012年より継続して協力をしています。国連WFPの実施する「WFPエッセイコンテスト」をはじめ、国連WFPが実施する様々なイベントに参加しました。

(C) Mayumi Rui

国連WFPレッドカップキャンペーンに参加しています

昨年度に引き続き、湖池屋では、国連WFPのレッドカップキャンペーンに賛同し、「湖池屋ポテトチップスのり塩5個パック」におきまして、売上の一部を国連WFPに寄付しました。寄付金は国連WFPの「学校給食支援」に役立てられます。

キャンペーン参加商品

湖池屋 ポテトチップス
のり塩5個パック

学校給食支援とは

途上国の学校で無償で栄養価の高い給食を提供することにより、子どもたちの健全な発育を助けると同時に就学率・出席率の向上に寄与する支援です。

レッドカップキャンペーンとは

今、世界には飢餓で多くの幼い命が失われていること、食べるために働いて学校に行けない子どもたちがまだまだいること、この状況を多くの人に伝え、一人でも多くの子どもたちに学校給食を届けるためのキャンペーンです。国連WFPが給食を入れる容器として使っている赤いカップが、キャンペーンのシンボルとなっています。

地球の飢餓を救え。
WFP
国連世界食糧計画

https://www.jawfp.org/redcup/

ベルマーク教育助成運動

ベルマーク教育助成運動は1960年に「すべての子どもに等しく、豊かな環境の中で教育を受けさせたい」そんな願いを込めて始まった、50年以上の歴史を持つ運動です。湖池屋は、教育助成運動であるベルマーク運動に賛同し、お菓子を通じて広く教育に貢献するため、1977年から40年以上にわたり、協賛会社として運動に参加しています。現在までの累計寄付金額は約3億3,000万円に上ります。湖池屋商品に親しみを感じていただき、楽しみながらベルマークを集めていただくために、様々な取り組みを実施しています。

湖池屋

累計寄付金額

約3億3,000万円

地域スポーツ振興

東京エクセレンス

湖池屋の本社は東京都板橋区にあります。板橋区に本社を構える地元企業として、東京都板橋区を中心に東京を本拠地として活動するB.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「東京エクセレンス」に協賛しています。「東京エクセレンス」の主催試合として板橋区・小豆沢体育館で実施するゲームにおいては、来場者サンプリングやイベント協賛をするなど、会場を盛り上げています。

湖池屋杯

関東工場、京都工場ではそれぞれの工場のある埼玉県加須市、京都府南丹市で活動している少年野球チームを対象に「湖池屋杯」を実施しています。地域の少年野球活動を通じて、地域住民の方々との交流を深めています。

JAPAN PRIDE プロジェクト

「日本の誇り」である風土・文化やそれらが生み出す素材を「湖池屋プライドポテト」に込めて発信するプロジェクトとして、2018年2月に「湖池屋 JAPAN PRIDE プロジェクト」が始動しました。

2018年5月の“宗像”に始まり、2019年6月の“小豆島”、2019年10月の“今金”、2020年8月の“神戸”、2020年9月の“金沢”と「JAPAN プライドポテト」を展開し、“地域の素材を活かしたポテトチップス”という領域を超えて、地域とともに、地域の抱えるテーマに向けて、商品を通じた貢献に取り組んでいます。

湖池屋は、日本のポテトチップスの老舗として「湖池屋 JAPAN PRIDE プロジェクト」を推進し、「日本の誇り」である風土・文化や、それが生み出す素材を「湖池屋プライドポテト」に込めて発信していきます。

地域の取り組みに賛同し、日本社会・日本文化の振興に貢献、応援していきます

環境への取り組み

湖池屋は、環境保全を意識した企業活動に取り組んでいます。
持続可能な自然環境の保全のため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、
容器包装改善など、様々な取り組みによって環境負荷の低減に努めています。

CO_2 排出量の削減（省エネ活動）

生産部門	中期目標	具体策2015年～2019年度
関東工場 関東第二工場	第一計画期間（平成23～26年度）において6%削減、 第二計画期間（平成27～令和元年度）において13%削減を 達成する。	●ボイラー・蒸気配管等、発熱設備表面の断熱強化 ●照明のLED化 ●スチームトラップ診断及び更新 ●温廃水の熱交換利用 ●ガスコージェネレーションシステムの導入による消費エネルギー削減 ●省エネ型空調機更新
京都工場	地球温暖化防止条例に基づき、第一計画期（平成23～25年度）、第二計画期（平成26～28年度）、第三計画期（平成29～令和元年度）の其々の計画期において前計画期平均比2%の削減を達成する。	

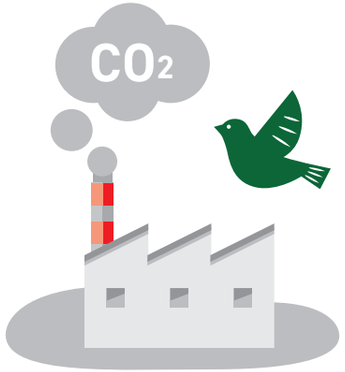
廃棄物の発生抑制とリサイクル

生産部門	中期目標	具体策
関東工場 関東第二工場 京都工場	廃棄物の発生抑制	●生産ロスの削減 ●返品の削減

配管保温の強化

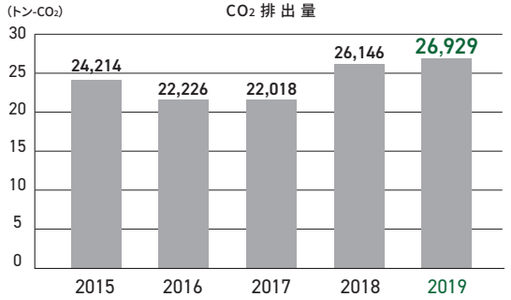
蒸気配管の断熱

事務所廊下照明のLED化



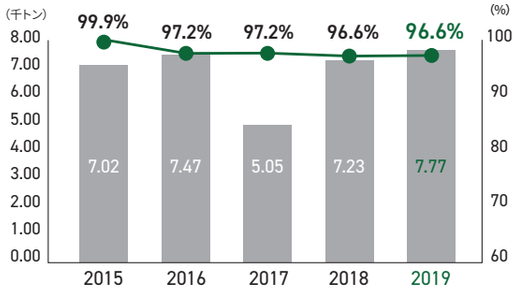
CO_2 排出量

湖池屋の各工場及び事業所においては、エネルギーの効率的利用に取り組み、CO_2排出量の削減に努めています。2019年については、生産状況の変化により、2018年と比較して上昇しました。省エネ設備機器の段階的導入、工場各所及び事業所各所において省エネ対策を進めることで、今後も継続してCO_2排出量削減に取り組んでいきます。



廃棄物の発生量とリサイクル（関東工場、関東第二工場、京都工場）

湖池屋の各工場では、どうしてもリサイクルすることのできない石などを除き、発生した食品廃棄物等のリサイクルに努めています。生産状況の変化により発生量の増加がありましたが、2019年の再生率は昨年に引き続き再生率96.6%という高水準を維持しています。



省エネ設備機器の導入によるCO_2の削減

湖池屋では地球温暖化の原因であるCO_2排出量削減のために、灯油から都市ガス・天然ガスへ転換しました。また関東第二工場においてはガスコージェネレーションシステム（自家発電設備）を導入しました。今後も省エネルギー設備の導入を計画的に進めていきます。

液化窒素タンク

ガスコージェネレーション

ポテトチップスができるまでとリサイクル

ポテトチップスができるまでには、いろいろな廃棄物が発生します。
食品廃棄物や中間生成物は、可能な限り再生利用に取り組んでいます。

今年度の再生率
96.6%

※再生率とは、
食品循環資源の再生利用の実施量÷食品廃棄物等の発生量
＝食品循環資源の再生利用等の実施率で表されます。

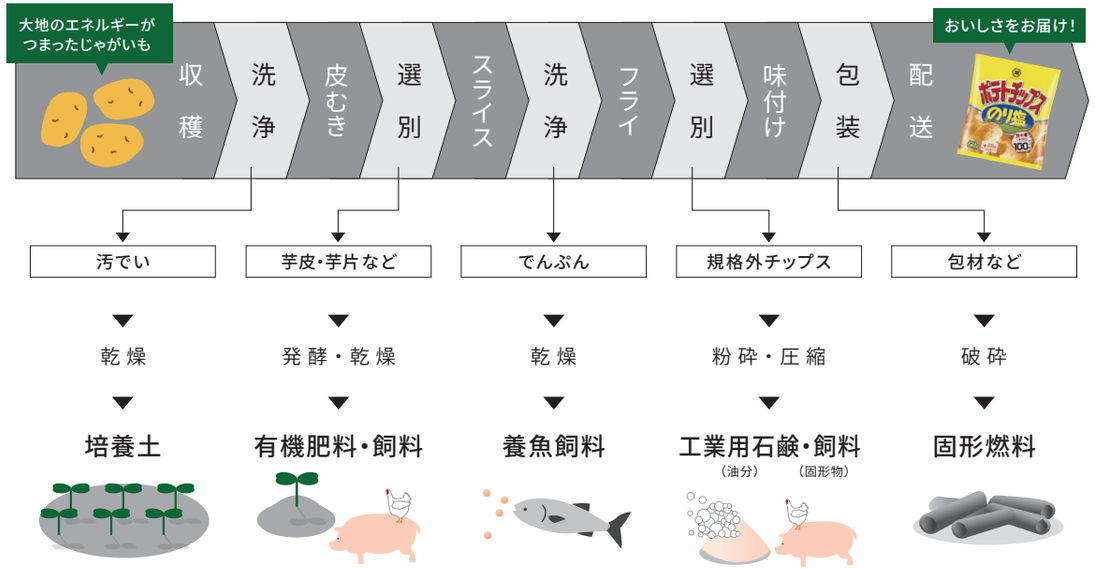
Potato chips Recycle line

じゃがいもを選別する工程

スライスしたじゃがいもの洗浄

ポテトチップスの選別

ポテトチップスの味付け



湖池屋マテリアルフロー（※委託先除く）

営業販売関連　【燃料使用量】ガソリン 186kℓ ▶ 【CO_2排出量】432 t-CO_2

物流配送関連　【燃料使用量】軽油 2,449kℓ ▶ 【CO_2排出量】6,331 t-CO_2

INPUT（原材料）

容器包装材料	包装フィルム	3,501 t
	紙　類	10,253 t
エネルギー使用（原油換算）	電　気	18,046 千kWh
	ＬＰＧ	6 kℓ
	ＬＮＧ	2,507 kℓ
	灯　油	14 kℓ
	都市ガス（13A）	5,272 千㎥
水の利用	水　道	16,693 ㎥
	井　水	607,639 ㎥

OUTPUT（廃棄物）

食物残さ（芋皮・屑等）	6,427 t
包装用フィルム等	359.7 t
［中間生成物］でんぷん	1,144.5 t
［CO_2排出量］CO_2	26,929 t-CO_2
［水系排出量］公共下水	624,102 ㎥

製品販売数
4.99億袋

※消費…製品販売数は生産総重量をレギュラー袋重量（60g）で換算し、推計したものです。
※物流・配送…物流は全体給油量から燃費量の平均値を算出して工場から配送センターまでの走行距離、走行回数、車種で計算しており、実測値ではありません。
※製造…エネルギーは「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく原油換算係数を使用して算出した値を掲載しています。
水系排出量は実測値ではなく、汚でい量や最終製品の出来高などから推定したものです。

従業員との関わり

湖池屋は、独創的でユニークな商品で「おいしさ」と「楽しさ」を提供するため、社員の自主性を尊重し、各自の個性や能力を活かしながら、いきいきとやりがいをもって働ける職場環境作りを目指しています。

人権を尊重した公正な採用

人材採用の際には、基本的人権を尊重し、国籍・性別・年齢などによって有利・不利がないよう、公正な採用を実施しています。社内においては、差別などが生じないよう、人権に関する継続的な意識啓発に取り組んでいます。

個性と能力を活かす人材の育成

湖池屋には様々なバックグラウンドを持った人材が働いていますが、個性や能力の伸長を目的に、自律的な成長を促す学習の支援制度を提供しています。

職位別研修	入社時	●新入社員研修　●新入社員フォロー研修　●中途入社社員研修
	管理職・総合職	●思考力強化研修
	全社員向け	●ストレスチェック　●自己啓発支援制度　他

職種別研修	営業部門	●営業マネジメント研修　●営業力強化研修　●営業力提案力強化講座
	企画開発部	●マーケティング研修
	生産部門	●製造強化研修

社内での環境・CSR教育

「環境」・「CSR」について知る・考えることを目的に、当社において実施した「環境」・「CSR」に関する活動をイントラネットなどで公開し、社員間での情報共有を図っています。また、新入社員に研修を実施し、「環境問題」や「CSR活動」に対する理解を深めています。

ダイバーシティの推進

湖池屋は、多様な人材の活用を進めることを目的にダイバーシティを推進しています。新卒採用においては、採用者に占める女性割合がここ3年間の平均で約5割に上ります。海外大学生や外国人留学生の採用実績もあります。また、その他においても、地域限定社員の採用や定年退職者の再雇用、海外法人における現地人材の採用など、多様な人材の活用を推進しています。

ワークライフバランスの推進

充実感を得ながら働き、仕事の責任を果たす一方で、育児・介護など個人の時間も充実した健康で豊かな生活を実現するため、湖池屋では仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進しています。2017年には、人事制度を改定し、ライフイベントに応じて、キャリアを選択できるようになりました。2018年から、働き方・業務改革プロジェクトが始まり、副業の解禁、カジュアルデーの開始、等々、働きやすい環境を整備することに努めております。

安全衛生の取り組み

労働安全衛生法の定めに従い、職場における安全と健康を確保し、快適な職場環境の構築を図っています。月1回実施されている衛生委員会においては、設備・作業におけるリスク低減や心身の健康をテーマに討議がなされ、各職場の業務特性や実情にあった取り組みが進められています。ストレスチェックは、毎年全社員が実施し、職場の環境改善に取り組んでおります。

湖池屋の活動状況

従業員数	858名（2020年6月30日現在）
資本金	2,269百万円
売上高	37,739百万円（2020年6月期）
工場拠点	関東工場　関東第二工場　京都工場 シレラ富良野（JAふらの業務委託）

株式会社湖池屋

〒175-0094 東京都板橋区成増五丁目9番7号
TEL. 03-3979-2115
https://koike-ya.com